

2025 年度

野洲市教育研究所だより

No.05

2025.5.30

まなび野洲検定 図書館とのコラボ

『まなび野洲検定とは』

野洲の偉人や寺社、自然などのいろいろな内容を小学生向けにまとめて『まなび野洲検定テキスト』として毎年発行しています。

それを活用し、**野洲へのほこりと愛**を持つことができる子どもの育成を目指して、小学校4年生～6年生向けに2010年から取り組まれている検定のことです。

問題数は全部で30問【3点×30問+10点（基礎点）＝100点】の検定です。9月に市内の各小学校で検定を実施します。

検定級

- 1級 90点以上（27問以上正解）
- 2級 75点以上（22問以上正解）
- 3級 60点以上（17問以上正解）



過去問題（10問バージョン）は、上のQRコードを読み込めば、チャレンジできるよ！

「まなび野洲検定2024」受検者に聞いた！ 興味を持った内容TOP10

1位	三上山		4位	ドウタクくん
2位	野洲川		5位	北村季吟
3位	依藤太のムカデ退治		6位	野洲の巨木 大岩山銅鐸
			8位	野洲きゅうり
			9位	みかちゃんメロン
			10位	兵主大社

（連動企画展で展示したポスター）



（野洲図書館との連動企画展の様子）

野洲市教育研究所では、野洲市教育委員会の指定事業として毎年「まなび野洲検定」を企画・運営しています。受検を希望した児童に『まなび野洲検定テキスト』を配付し、それを基に『まなび野洲検定』に取り組む中で、郷土の自然環境や産業、人物や身近な歴史文化遺産などについて興味と関心を持つことができるようにすることを目的として取り組んでいます。

しかしながら、毎年の受検者数は対象者の市内小学4年生から6年生の1割以下しか取り組んでいないのが現状です。そこで、少しでも「まなび野洲検定」に興味・関心を持ってもらえるように野洲図書館の協力を得て連動企画展を開催しました。

期間は4月26日（土）～5月9日（金）で「まなび野洲検定のポスター2種類」、「まなび野洲検定テキスト」、「まなび野洲検定2024検定問題閲覧用」、「まなび野洲検定2024（10問抜粋編）持ち帰り用」「関連図書」を展示しました。野洲図書館の一般開架室の入ってすぐの場所に企画展を開催できたことで、図書館利用者の多くの方の目に留まり、児童や保護者だけでなく、一般の市民にも関心をもってもらうことができました。

そのかいあって、連動企画展の間にQRコードから過去問題に答えてくれた方が30名で、「まなび野洲検定2024（10問抜粋編）持ち帰り用」も準備した30枚が全て無くなりました。

また、野洲図書館が展示してくださった48冊の関連図書にも多くの方が関心を持ってくださり、10冊の貸し出しがありました。

過去問題を解いた児童へのアンケートでは、大半の児童が「おもしろい」と答えてくれました。また、「興味をもった」「難しいけどおもしろかった」「検定を楽しみにしている」「受験したくなった」など「まなび野洲検定」への受験意欲が高まる企画となったと感じています。

まなび野洲検定を多くの児童が受験し、それに向けた受験勉強の中で野洲市への知識が増え、興味・関心が高まってくれればと思います。

ぜひ、教職員の方々もこの機会に野洲市について一緒に学んでみてはいかがでしょうか？

まなび野洲チャレンジ！ 27

今回は、この問題です。正しい答えの番号はどれでしょう。
答えは最下段に載せています。

野洲川は、鈴鹿山系の御在所山を源流とし、甲賀市、湖南市、栗東市、守山市、野洲市の各市を流れ、琵琶湖へと注いでいます。琵琶湖へ流入する河川の中では、延長（長さ）・流域面積ともに県内最大の一級河川です。

昔は琵琶湖へ注ぐ河口が、分流により八つの洲をつくっていたため八洲川と呼ばれていましたが、これが後に野洲川になったと言われています。

また、かつては河口付近の下流は、北流と南流の2つに分かれており、川幅は、北流と南流を合わせても上流よりも狭く、かつ曲がりくねった河床の高い天井川であったため、毎年のように氾濫し、10年に1度は記録に残るような大氾濫と大水害を流域の人々にもたらしていました。したがって、人々はこの暴れ川を「〇〇〇〇」と呼んでいました。

そこで、水害から人々を守るために、国の事業として新しい川（放水路）が8年の歳月をかけてつくり、1979（昭和54）年6月に通水しました。北流と南流は廃川となり、現在は埋め立てられて農地などに利用されています。

◎延長が長い滋賀県内の主要河川

1位 野洲川（65.3km） 2位 安曇川（57.9km） 3位 高時川（48.4km）

◎流域面積が広い滋賀県内の主要河川

1位 野洲川（387.0 km²） 2位 姉川（369.5 km²） 3位 安曇川（300.0 km²）

※流域面積→河川に流れ込む降水（雨や雪）が降り集まる地域の面積。

「〇〇〇〇」に入るのはどれでしょうか？

①近江太郎 ②近江次郎 ③近江三郎 ④近江四郎



（国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務局提供）



『9歳から知っておきたい 情報読解力を身につける方法』

谷 和樹 監修 TOSS 情報読解力研究会編

吉岡 味二番 イラスト 出版社：マイクロマガジン社

私たちの周りには、さまざまな情報が溢れています。

それらの情報を正しく読み取ることは、騙されないための第一歩です。

そして、自分の発信した情報を正しく安全に伝える 能力を身につけることにも通じます。

本書は、新聞・写真・動画・広告・グラフなどから正しく情報を読み取るための方法を現役の教師が子どもたちに伝授するととても分かりやすい「情報読解」の入門書です。

大人が読んでためになります。

学校の先生方にもオススメです。